

地域医療支援センターだより



年末のご挨拶

地域医療支援センター長 内科診療部長 山端潤也



2020年もお世話になりありがとうございました。大変な1年で、とりわけ3月以降は院外の皆様との交流の機会がなくなり、個人的にも出張の類がなくほとんど七尾にいることとなりました。その分、院内の業務に集中することとなり、病診・病病連携にも力を入れました。地域の先生方、ご施設の皆様、そして手前味噌で恐縮ですが、当センターはじめ院内のスタッフにも心より感謝申し上げます。まだまだ大変な日々が続きそうですが、2021年も引き続き充実した連携をよろしくお願い申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。

グリーンリボンキャンペーンの活動について

10月は臓器移植普及推進月間でした。

脳死下臓器提供施設である当院では、臓器移植の啓発を目的として10月13日から18日にかけて、正面玄関付近に展示コーナーを設置しました。また、期間中は外通路をグリーンライトアップし、初のプロジェクションマッピングも実施しました。



臓器提供はする権利もしない権利も大切な権利です。ぜひ臓器提供意思表示をしておきましょう。



高額医療機器共同利用のご案内

①年末年始の予約受付について

年末年始(12/29~1/3)は高額医療機器共同利用の予約受付を休止しておりますので、1/4(月)以降に地域医療連携係までご連絡ください。

②全大腸内視鏡検査(TCF)について

全大腸内視鏡検査(TCF)は共同利用の対象外となります。ご希望時は消化器内科へのご紹介をお願いします。

脳神経外科輪番制の当番日について

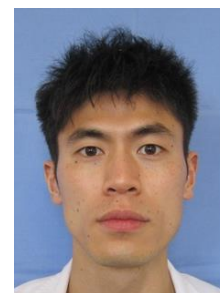
当番日のご案内

1月 1、3、9・10、16・17、23、30・31
2月 6、11、13・14、21、23、27
3月 6・7、13、20・21、27

泌尿器科のご紹介

前立腺がん検診を受けましょう！

公立能登総合病院 泌尿器科 中川竜之介



こんにちは、公立能登総合病院泌尿器科の中川竜之介です。

突然ですが、男性の皆さん。前立腺がん検診は受けていますでしょうか？男性の前立腺癌の罹患率は年々上昇しており、ついに2017年には男性の癌罹患率1位となりました。それに伴い、前立腺癌による死亡率も徐々に上昇しております。

前立腺とは男性特有の臓器であり、膀胱の下にあり尿道を取り囲んでいます。前立腺が大きくなったり（前立腺肥大症と言います）、癌が生じた場合、尿の勢いが弱まったり、頻尿になったりと排尿症状が現れることがあります。そのような症状が気になる場合は一度医療機関を受診してみてください。また、前立腺癌はそのような症状がなくても発生している場合があります。したがって男性にとって前立腺がん検診は非常に大事です。



前立腺がん検診は血液検査で行われます。「PSA（ピーエスエー）」という項目を測定し、異常値であれば専門家の受診を勧められます。この検診は七尾市でも行われており、個人負担金は300円です。300円払うだけで自分に前立腺癌の可能性がないかどうか調べることができる。これは検診を受け

ない手はありませんよね？かかりつけ医の先生方も、患者さんに前立腺がん検診を積極的に勧めていただくと早期発見・早期治療につながりますので大変助かります。

検診で前立腺癌の精査を勧められた場合、ぜひ当院泌尿器科を受診ください。当院では手術、放射線治療などの設備が整っております。また当院では「ダ・ヴィンチ」というロボットを使用した手術が可能です。今までの手術よりも傷は小さく、より繊細な操作を行うことができ、手術成績も従来の術式より良いという報告もあります。

男性の皆さん、ご自身のために、愛する妻のために、可愛いお子さん、お孫さんのために…是非とも「前立腺がん検診」を受けましょう！

